

鳥取大学 データサイエンス教育プログラム

令和 5 年度自己点検・評価

《履修状況》

令和 5 年度履修者、修得者数（再履修者含む）

	入学 定員	収容定 員	2 科目履 修者数	令和 5 年度 2 科目修得 者数	令和 4 年度 2 科目修得 者数	令和 3 年 度修了者 数	修了率
地域学 部	170	680	185	165	165	156	71%
医学部	265	1292	272	271	264	185	56%
工学部	450	1800	475	409	401	405	68%
農学部	255	1090	272	250	246	230	67%
総計	1140	4862	1204	1095	1076	976	65%

2 科目履修者数＝「情報リテラシ」と「データサイエンス入門」の 2 科目履修者数

修了率＝令和 3, 4, 5 年度 2 科目同時修得者数総計／収容定員

《総評》

令和 5 年度は「データサイエンス教育プログラム」実施 3 年目であるが、全学部での収容定員に対する修了者数の割合は約 65%となった。また、令和 5 年度前期「授業アンケート」の結果、有益で満足できるという回答は「情報リテラシ」では全学部総計で 80%以上、「データサイエンス入門」では約 76%であり、授業内容を十分理解しているという回答は「情報リテラシ」、「データサイエンス入門」共に 70%以上となった。

全学共通科目（入門科目）「データサイエンス入門」については、今年度も独自に受講前後のアンケート調査（以下の事前アンケート、および事後アンケート）を行った。その結果、データサイエンスに関する関心は受講前後でいずれも 63%で変化がなかったが、知識・理解度に関しては「活用例を聞いたことがある」というレベルの学生の割合が 55%から 43%へと減少したのに対し、「活用例を詳しく説明できる、並びに簡単な説明ができる」という学生が 45%から 58%に増加しており、リテラシーレベルの教育としては効果があったことが確認された。

令和5年度授業アンケート（一般）

設問 8：全体としてこの授業は，満足できるものでしたか

設問 11：あなたは，これまでの授業内容を十分理解していますか

に対して，回答選択肢

1: 全くそうではない，2: そうではない，3: どちらとも言えない，4: そのとおりだ，

5: 全くそのとおりだ

のうち，「4: そのとおりだ，5: 全くそのとおりだ」を選択した回答数，および回答率

情報リテラシ

時間割コード	クラス	開講時期	履修人数	回答者数	設問 8(4,5回答数)	設問8(4,5回答%)	設問 11(4,5回答数)	設問 11(4,5回答%)
AG20010001	01	前期	72	62	50	81%	49	79%
AG20010002	02	前期	67	48	44	92%	40	83%
AG20010003	03	前期	60	54	49	91%	35	65%
AG20010005	05	前期	84	56	52	93%	46	82%
AG20010006	06	前期	79	59	51	86%	46	78%
AG20010007	07	前期	61	44	37	84%	37	84%
AG20010008	08	前期	59	57	50	88%	38	67%
AG20010009	09	前期	72	61	30	49%	33	54%
AG20010010	10	前期	75	57	40	70%	30	53%
AG20010011	11	前期	50	45	45	100%	41	91%
AG20010012	12	前期	52	44	29	66%	25	57%
AG20010013	13	前期	66	59	55	93%	50	85%
AG20010014	14	前期	63	56	43	77%	44	79%
AG20010015	15	前期	71	67	65	97%	58	87%
AG20010016	16	前期	69	67	57	85%	53	79%
AG20010017	17	前期	73	70	51	73%	55	79%
AG20010018	18	前期	72	65	49	75%	49	75%
AG20010051	51	1Q	104	11	10	91%	6	55%
AG20010031	31	前期	21	19	10	53%	14	74%
AG20010032	32	前期	3	1	1	100%	1	100%
総計			1273	1002	818	82%	750	75%

データサイエンス入門（時間割コード：AG26010000，開講時期：前期）

履修人数	回答者数	設問8(4,5回答数)	設問8(4,5回答%)	設問11(4,5回答数)	設問11(4,5回答%)
1231	764	581	76%	546	71%

（回答期間外に回答した者1名は除く）

「データサイエンス入門」事前・事後アンケート結果

事前アンケート設問・回答選択肢

- 「データサイエンス」という分野に対して関心はありますか
 - 大いに関心があり学習したい
 - 少し関心がある
 - あまり関心はない
 - 全く関心はない
- 社会の様々な分野でデータ・AI が活用されていることについて、どれくらいの認識がありますか
 - 活用されている例を挙げて詳しく説明できる
 - 活用されている例を挙げて簡単な説明ができる
 - 活用されている例について聞いたことがある
 - 活用されている例は知らない・聞いたことがない
- データサイエンスに関する知識・理解はあなたの今後の進路（専門分野・進学・就職）においてどれくらい重要だと思いますか。
 - 必要不可欠であると思う
 - 必要不可欠ではないが役に立つと思う
 - あまり関係ないと思う
 - 分からない

事後アンケート設問・回答選択肢

- この授業を終えて、「データサイエンス」という分野に対する関心は変化しましたか。現在の考えに最も近いものをお選びください。
 - 大いに関心があり，さらに学習を進めたい
 - 関心がある。機会があれば学習を進めてもよい
 - 少し関心がある
 - 関心はない
- 社会の様々な分野でデータ・AI が活用されていることについて、どれくらいの認識がありますか（事前アンケートと同じ設問・選択肢）
- データサイエンスに関する知識・理解はあなたの今後の進路（専門分野・進学・就職）においてどれくらい重要だと思いますか。（事前アンケートと同じ設問・選択肢）

○ 回答回収率 令和5年度 事前アンケート：98%，事後アンケート：94%

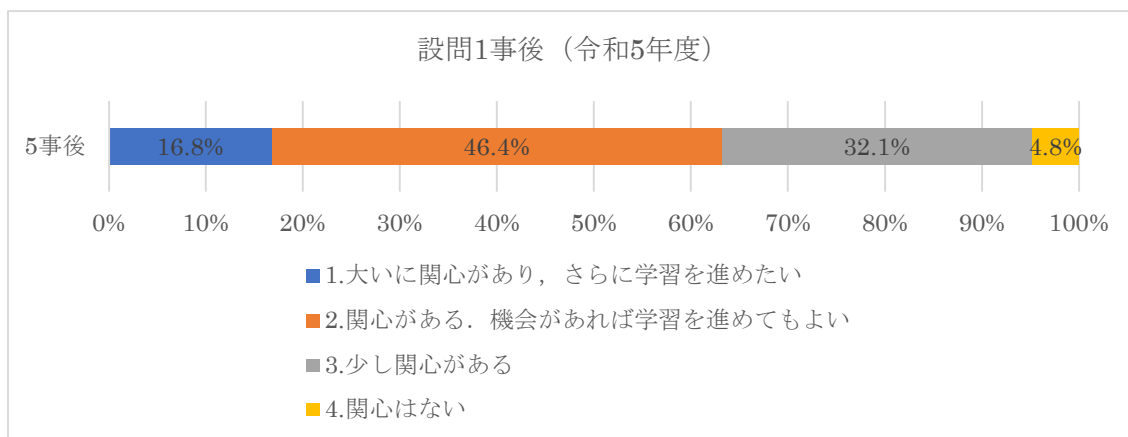
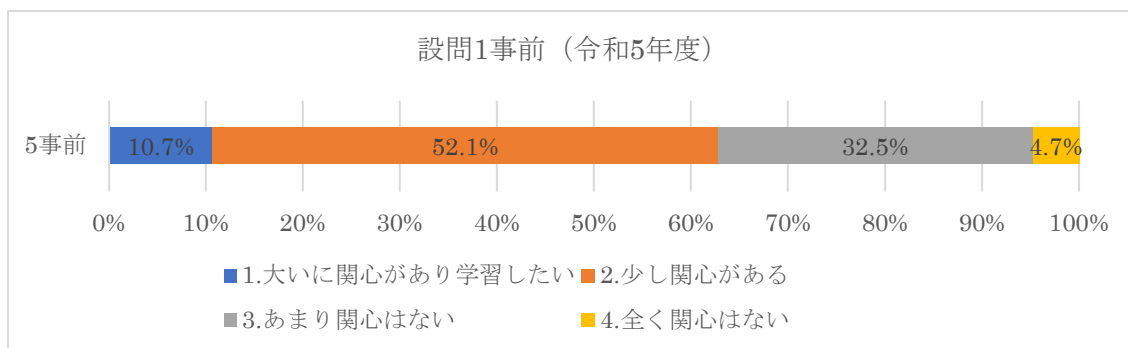
設問 1. (事前アンケート)「データサイエンス」という分野に対して関心はありますか

設問 1. (事後アンケート) この授業を終えて、「データサイエンス」という分野に対する関心は変化しましたか. 現在の考えに最も近いものをお選びください.

事前	1. 大いに関心があり学習したい	2. 少し関心がある	3. あまり関心はない	4. 全く関心はない
	10.7%	52.1%	32.5%	4.7%
事後	1. 大いに関心があり, さらに学習を進めたい	2. 関心がある. 機会があれば学習を進めてもよい	3. 少し関心がある	4. 関心はない
	16.8%	46.4%	32.1%	4.8%

○ 回答の選択肢が異なるため, 事前・事後の単純な比較はできないが, 肯定的な回答の割合(選択肢 1 および 2 の回答割合)は事前 62.8%→事後 63.2%となった.

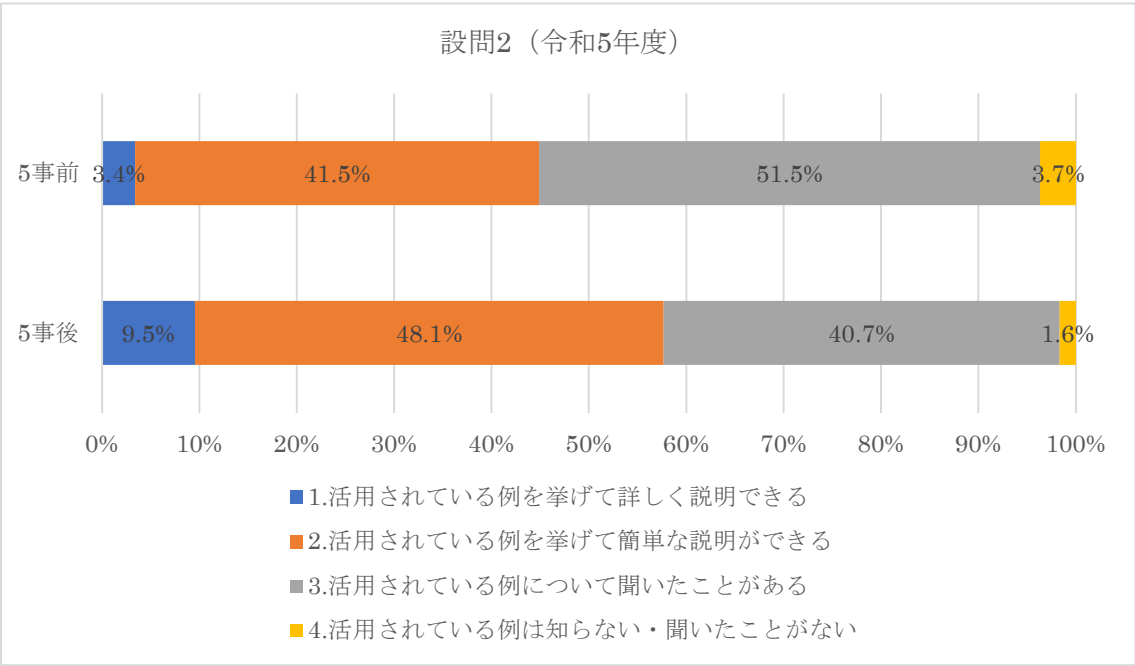
一方, 「大いに関心があり学習したい」(選択肢 1) 学生は事前 10.7%→事後 16.8%のように増加している.



設問 2. (事前・事後共通) 社会の様々な分野でデータ・AI が活用されていることについて、どれくらいの認識がありますか.

	1. 活用されている例を挙げて詳しく説明できる	2. 活用されている例を挙げて簡単な説明ができる	3. 活用されている例について聞いたことがある	4. 活用されている例は知らない・聞いたことがない
事前	3.4%	41.5%	51.5%	3.7%
事後	9.5%	48.1%	40.7%	1.6%

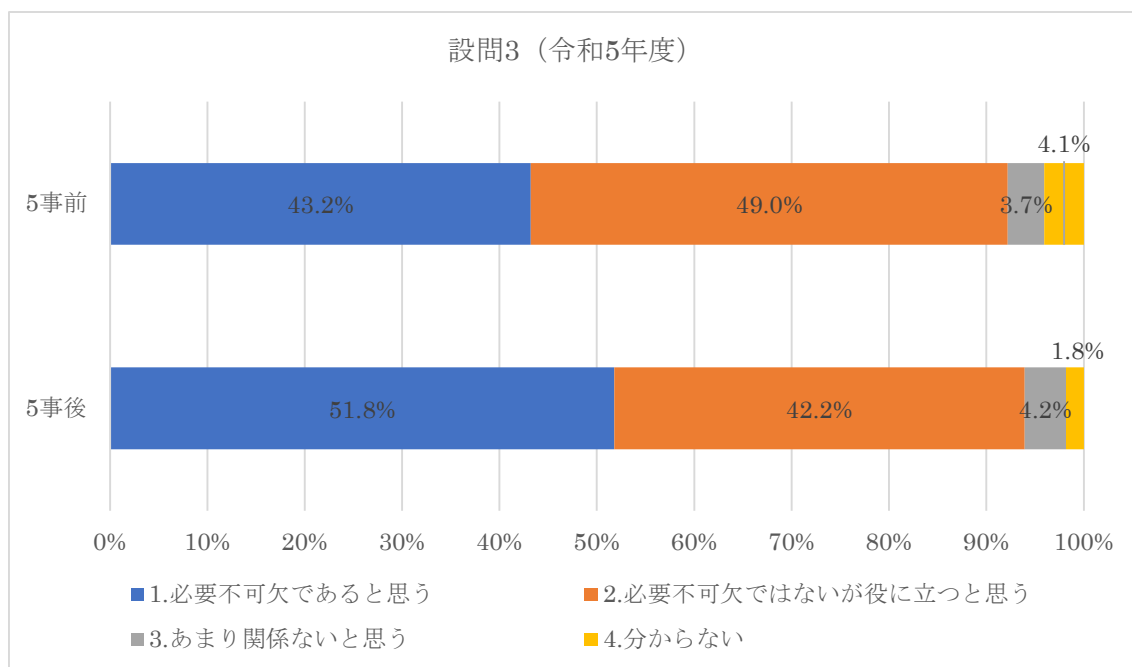
○ 社会におけるデータ・AI の活用についての認識では、肯定的な回答（「詳しく説明できる」および「簡単な説明ができる」）の割合は事前 44.9%→事後 57.6%のように増加した. そのうち「例を挙げて詳しく説明できる」回答は事前 3.4%→事後 9.5%へ、「簡単な説明ができる」回答は事前 41.5%→事後 48.1%へ、共に増加している.



設問 3. (事前・事後共通) データサイエンスに関する知識・理解はあなたの今後の進路（専門分野・進学・就職）においてどれくらい重要だと思いますか.

	1. 必要不可欠であると思う	2. 必要不可欠ではないが役に立つと思う	3. あまり関係ないと思う	4. 分からない
事前	43.2%	49.0%	3.7%	4.1%
事後	51.8%	42.2%	4.2%	1.8%

○ 肯定的な回答（選択肢 1 および 2）は事前 92.2%→事後 93.9%だった。
このうち「必要不可欠であると思う」回答は事前 43.2%→事後 51.8%のように増加した。
また、「分からない」回答は事前 4.1%→事後 1.8%のようにやや減少した。



アンケート結果・学部別集計

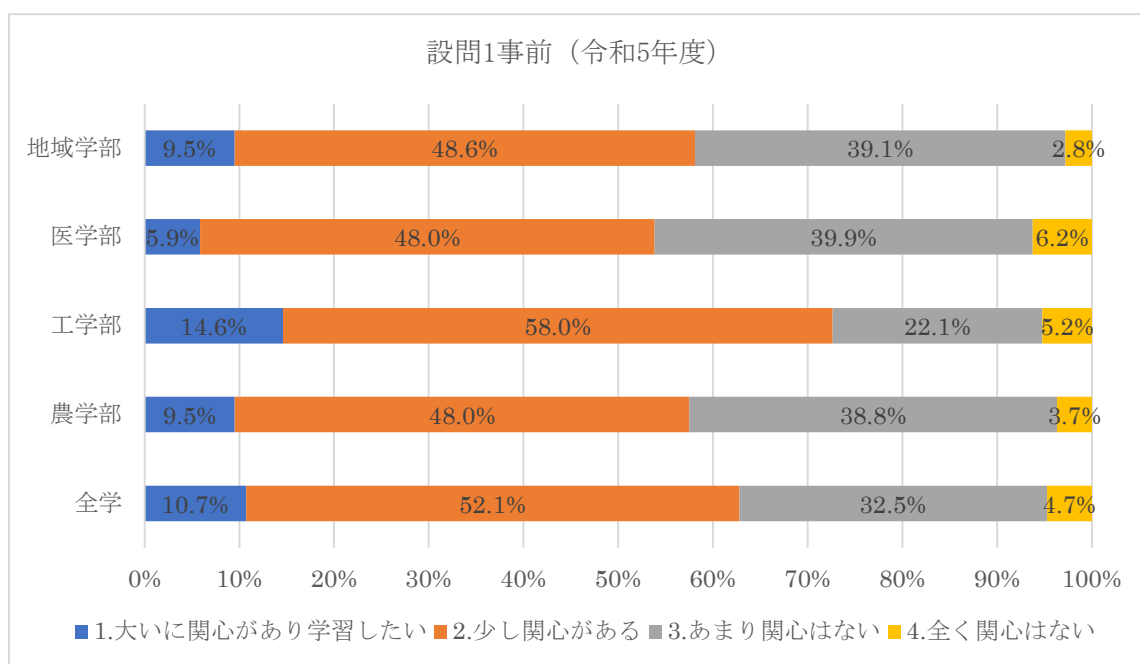
設問 1.

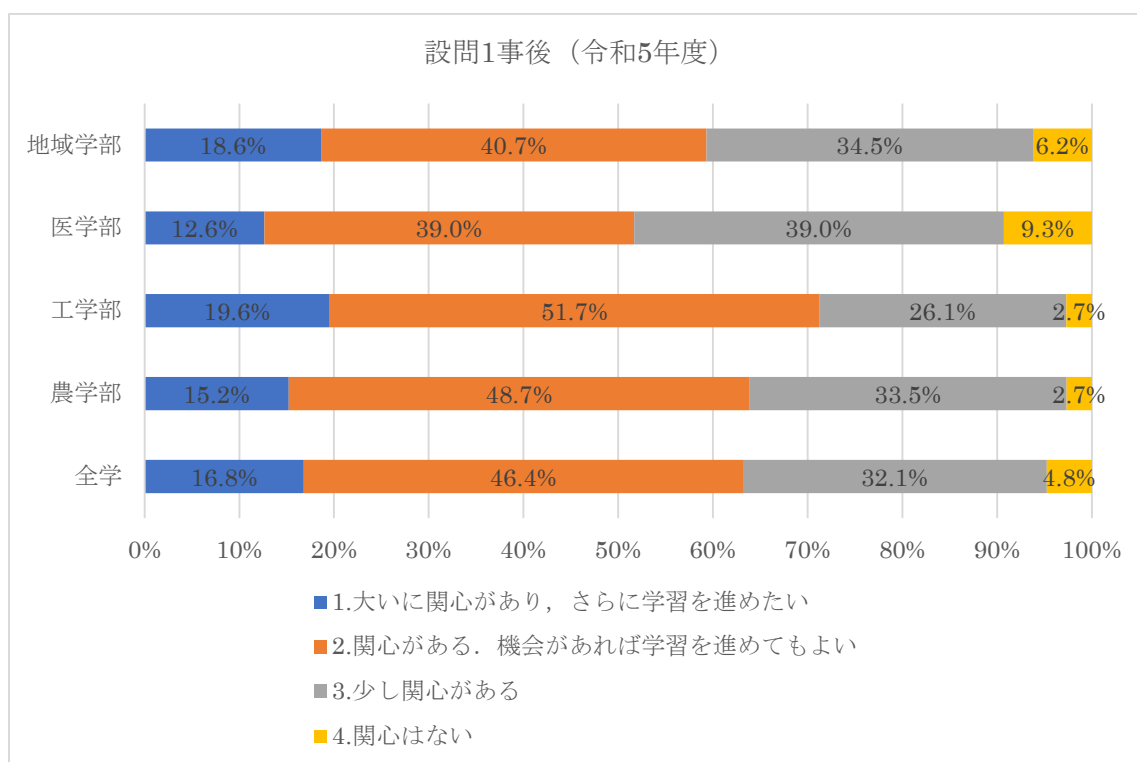
【設問 1 事前】

	1. 大いに興味があり 学習したい	2. 少し興味がある	3. あまり興味はない	4. 全く興味はない
地域学部	9.5%	48.6%	39.1%	2.8%
医学部	5.9%	48.0%	39.9%	6.2%
工学部	14.6%	58.0%	22.1%	5.2%
農学部	9.5%	48.0%	38.8%	3.7%
全学	10.7%	52.1%	32.5%	4.7%

【設問 1 事後】

	1. 大いに興味があ り、さらに学習を進 めたい	2. 興味がある、機会 があれば学習を進め てもよい	3. 少し興味がある	4. 興味はない
地域学部	18.6%	40.7%	34.5%	6.2%
医学部	12.6%	39.0%	39.0%	9.3%
工学部	19.6%	51.7%	26.1%	2.7%
農学部	15.2%	48.7%	33.5%	2.7%
全学	16.8%	46.4%	32.1%	4.8%





設問 2.

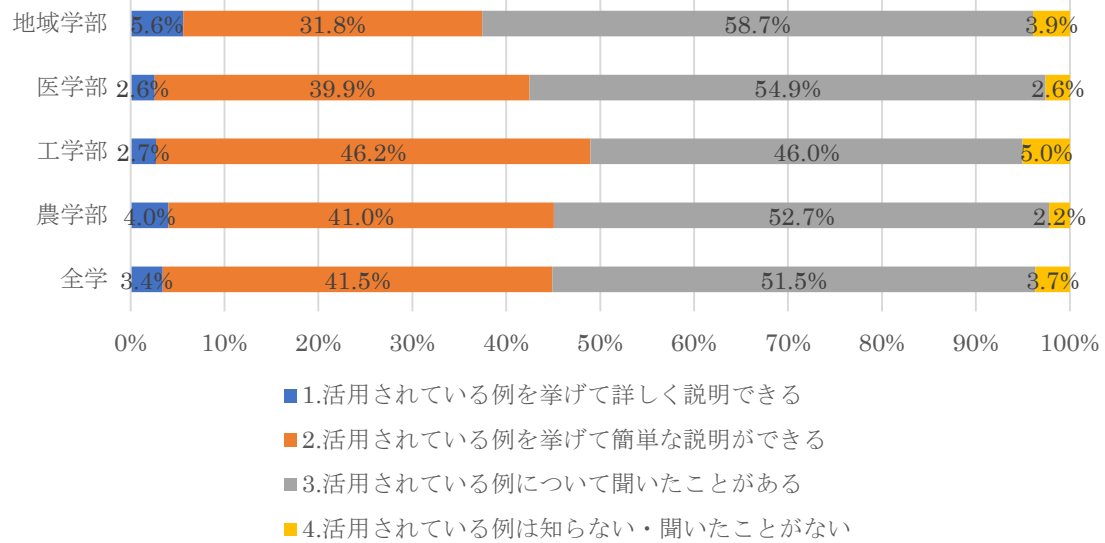
【設問 2 事前】

	1. 活用されている例を挙げて詳しく説明できる	2. 活用されている例を挙げて簡単な説明ができる	3. 活用されている例について聞いたことがある	4. 活用されている例は知らない・聞いたことがない
地域学部	5.6%	31.8%	58.7%	3.9%
医学部	2.6%	39.9%	54.9%	2.6%
工学部	2.7%	46.2%	46.0%	5.0%
農学部	4.0%	41.0%	52.7%	2.2%
全学	3.4%	41.5%	51.5%	3.7%

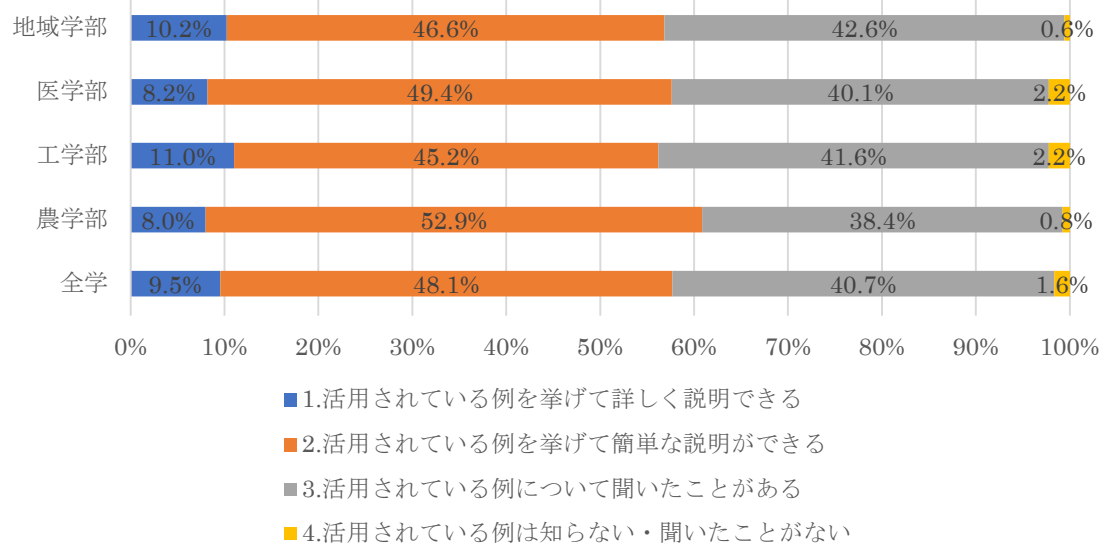
【設問 2 事後】

	1. 活用されている例を挙げて詳しく説明できる	2. 活用されている例を挙げて簡単な説明ができる	3. 活用されている例について聞いたことがある	4. 活用されている例は知らない・聞いたことがない
地域学部	10.2%	46.6%	42.6%	0.6%
医学部	8.2%	49.4%	40.1%	2.2%
工学部	11.0%	45.2%	41.6%	2.2%
農学部	8.0%	52.9%	38.4%	0.8%
全学	9.5%	48.1%	40.7%	1.6%

設問2事前（令和5年度）



設問2事後（令和5年度）



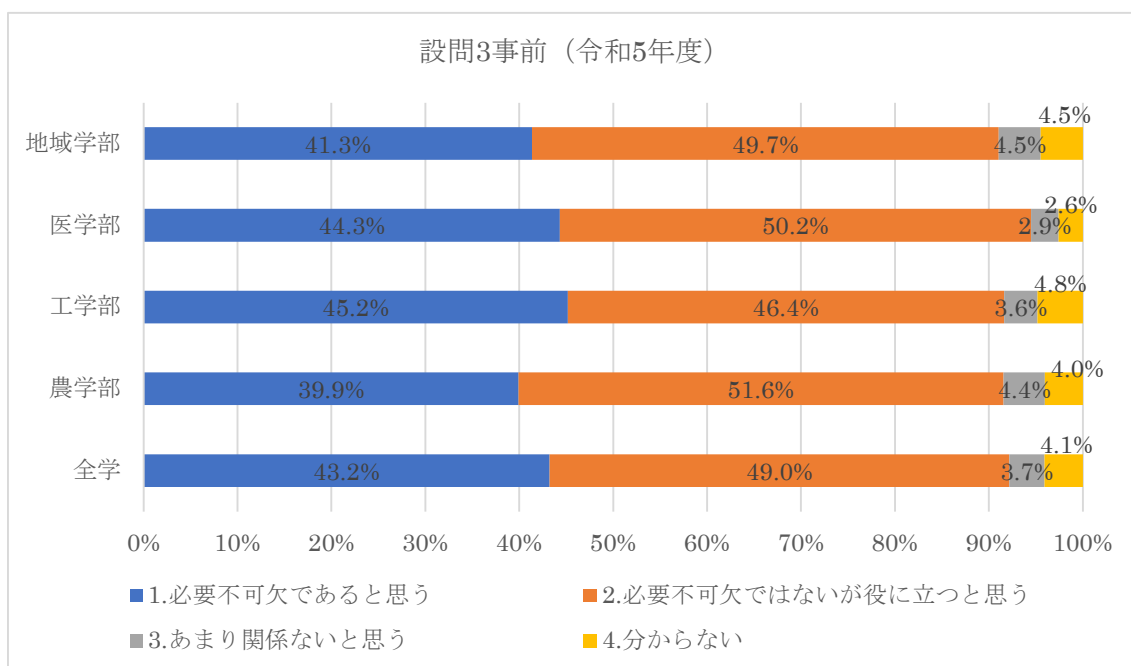
問 3.

【設問 3 事前】

	1. 必要不可欠である と思う	2. 必要不可欠ではな いが役に立つと思う	3. あまり関係ないと 思う	4. 分からない
地域学部	41.3%	49.7%	4.5%	4.5%
医学部	44.3%	50.2%	2.9%	2.6%
工学部	45.2%	46.4%	3.6%	4.8%
農学部	39.9%	51.6%	4.4%	4.0%
全学	43.2%	49.0%	3.7%	4.1%

【設問 3 事後】

	1. 必要不可欠である と思う	2. 必要不可欠ではな いが役に立つと思う	3. あまり関係ないと 思う	4. 分からない
地域学部	55.4%	39.5%	4.0%	1.1%
医学部	47.6%	43.9%	6.3%	2.2%
工学部	52.5%	41.7%	3.4%	2.5%
農学部	52.5%	43.0%	3.8%	0.8%
全学	51.8%	42.2%	4.2%	1.8%



設問3事後（令和5年度）

